

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立東粉浜小学校（大阪市）

【取組内容④】チャットとクラウド環境を活用した対話的・協働的な教員研修

リアルタイムに取組の価値を伝え合うとともに、教員が共同編集や他者参照のよさを体感

日常的に教材を「研修用」クラスへ保存

ICT活用研修会（1月）では・・・

- ① 学年ごとに、1年間の取組を発表
- ② コンテンツ別に、活用方法を整理
- ③ Googleドライブより適宜教材を参照・編集・複製
- ④ 発表中もチャットで意見交流

教職員の反応



クラウドを活用することで、使ってみたい教材がすぐにコピーできるからありがたいです。あとは自分の学年の子どもたちに合わせて、編集するだけで使えますね。

他者参照により、子どもたちがお互いの考えや作品のよさをもとに、自分の考えや作品に活かしている他学年の取組が印象的でした。ぜひ取り入れたいですね。



4 司会者が時折チャットの内容に触れ、方向性を共有するとともに授業中の児童の状況を体感

2 GWSやM365、デジタルドリルなど、コンテンツごとの有用性を整理

1 使用したコンテンツや教材作成時のポイント、児童の成果物や反応などをもとに、1年間の児童の変容を紹介

3 「このスプレッドシートいいね。うちの学年でも使ってみよう」と他学年の教材をクラウド上で参照・編集・複製

4 「Googleスライドの背景を動かないようにするには・・・」と気付いた改善方法をすぐに投稿

4 「他者参照が学びの深まりになっていますね」など、発表をもとにチャットで相互に価値づけ